

福山大学薬学部・福山市薬剤師会 シリーズ研修会

講師：小嶋 英二郎 先生（福山大学 薬学部 薬品分析化学研究室 教授）

テーマ：「薬学的管理・健康管理に臨床検査値を活用するために」（全3回）

平成27年度から施行されている改訂薬学教育モデルコアカリキュラムでは、薬剤師に必要な資質が具体的に示されています。その中に「薬物療法における実践的能力」および「地域の保健・医療における実践的能力」があります。これらは、薬剤師が、患者さんの様々な悩みに応じて、薬学的管理・健康管理の側面から、大いに貢献することを求めているように思います。そのためには、医薬品に対する高度な知識はもちろんのこと、的確な病態の把握が必要になります。種々の検査データに基づく指導が必須になってきている現状をふまえ、臨床検査値のもつ意義を、今一度、基礎から勉強してみましよう。

第1回 1月16日（火） 「尿および血液検査」

尿検査や血液検査は、身体検査など、患者にとっても日常的に接している検査データなので、面談などのアセスメントで積極的に活用することができます。これらの検査結果を正しく評価できるように、測定原理を交えながら解説します。

第2回 2月6日（火） 「生理機能検査（心電図、呼吸機能検査）」

循環器、呼吸器に関する機能検査は、種々の簡易検査機が発売されており、健康フェスタなどのイベントや一般の薬局で、薬剤師が患者サービスの一環として実施しているところも見受けられます。また、イベント等での結果をもとに、相談を受けるケースも増えてくると思われます。このようなツールを患者面談等でのアセスメントで正しく活用できるように、心電図、呼吸機能検査について解説します。

第3回 2月20日（火） 「簡易測定機器を利用したフィジカルアセスメント」

現在、利用できる種々の簡易測定機器を紹介し、それらを使ったフィジカルアセスメントを薬学的管理指導にどう活用するかを、一部は実際に測定したりして、考えてみましょう。

会場：福山大学宮地茂記念館402研修室 時間：19時30分～21時00分

連絡先：（一社）福山市薬剤師会 TEL: 084-926-0588 FAX: 084-924-7839 E-mail: fpa@fukuyamashiyaku.org

福山大学薬学部 TEL: 084-936-2111 FAX: 084-936-2024 E-mail: tamura@fupharm.fukuyama-u.ac.jp